

四季の里に関するプレサウンディング調査Q & A

Q1：何を目的としたプレサウンディング調査なのか？

A1：令和7年に開園30周年を迎える四季の里では、より良い施設とするために将来ビジョンの検討を進めており、施設リニューアルに向けたコンセプトの是非やテナントの出店意欲、出店等の成立要件、テナント公募のあり方（施設範囲・業務範囲等）について幅広く意見を伺うことを目的にプレサウンディング調査を実施することとしました。

Q2：プレサウンディング調査の対象となる施設はどこか？

A2：現在空きテナントとなっている3施設（憩いの館、工芸館（一部）、農園レストラン）を対象としています。これらの施設について幅広く意見を伺いたいと考えています。

Q3：対象施設のうち、一部の施設のみ関心がある場合でも参加は可能か？

A3：可能です。

Q4：実施要領に「テナント施設」として、民間の営利事業として実施し、賃料または使用料を支払うことが前提と記載があるが、この考え方は決定されたものか？

A4：実施要領はあくまで現時点での考えを記載したもので、この考え方に限るものではありません。具体的な条件については、今回のプレサウンディングや今後実施する予定のサウンディング調査の結果を踏まえ検討・決定するので、検討可能と考える条件があれば本調査にてご意見をいただければと思います。

Q5：四季の里に関心はあるが、数年後の出店に向けた詳細の検討を現時点で行うことは難しいと考えている。そのような状況でも参加してもよいのか？

A5：可能です。市ではどのような条件であれば、民間事業者による本施設の利活用が可能となるのか模索している状況であり、様々な意見を伺いたいと考えております。少しでも関心があれば、本調査にご参加ください。

Q6：対象施設の利活用の方針は決まっているか？

A6：対象施設の利活用方針は今回の調査などの結果を踏まえ検討・決定する予定です。「あづま山麓エリアの魅力発信施設」としてどのような活用方法が考えられるのか様々なご提案をいただければと思います。

Q7：農園レストランについて、対象規模が大きく1事業者で事業実施することは困難と考える。複数の事業者で一棟を利用することも可能か？

A7：可能です。工芸館についても同様に考えておりますので、様々なご提案を頂戴したいと考えております。

Q8：官民対話スケジュールにて、プレサウンディング調査とサウンディング調査2つが記載されているが、それぞれ参加可能ということか？

A8：お見込みのとおりです。両方の調査への参加が必須ということではなく、プレサウンディング調査、サウンディング調査どちらかの調査のみ参加するということも可能です。